

## 「令和7年度 就労ボランティア体験事業」 提案評価表

分野・審査項目・評価内容	対象書類※	配点
<b>1 仕様書や説明書に沿った事業内容となっているか</b>		40
(1) 参加者の特性や状況に応じ、自立助長(日常生活自立・社会生活自立・就労自立)に効果的で、多様なメニュー(ボランティア、セミナー等)を提供できるか。	応募申請書 企画提案書 積算書	10
就労体験及びボランティア体験の場となる協力事業所について、市内全域かつ様々な職種を十分に確保できるか。また、協力事業所の開拓について、アプローチ方法は適切であるか。		10
(3) 事業計画について、参加者の就労意欲向上やマンネリ化防止が組み込まれている提案となっているか。		10
(4) 提案内容に実現性があるか、積算の内容(各項目ごとの費用)は妥当か。		10
<b>2 生活保護及び生活困窮者自立支援業務への考え方及び理解度</b>		25
(1) 生活保護、生活困窮者自立支援行政及び生活保護受給者、生活困窮者の現状や支援の必要性を理解しているか。	企画提案書	10
(2) 生活保護担当部署(各区保護課)、自立相談支援機関及び協力事業所との連携体制は適切であるか。		10
(3) 守秘義務の徹底について、十分な提案となっているか。		5
<b>3 アピール事項</b>		25
(1) より多くの参加者を得られるような事業周知活動の工夫や、参加者のニーズに合わせた支援内容の工夫が提案されているか見込みであるか。	企画提案書	15
(2) 参加中断者へのフォローについて、引き続き社会参加できるような提案や取組がされているか。		10
<b>4 事業実施体制及び業務実績</b>		10
(1) 事業を実施するために十分な職員配置計画となっているか。また、配置職員の資格及び経歴等が事業実施に当たって望ましいものであるか。	応募申請書 企画提案書 積算書	5
(2) 本事業に類する事業で良好な実績を有しているか。		5
※対象書類等の記載から読み取れない項目についてはヒアリングを行う。	合計	100